

第62回例会報告（2017年8月発信）

今年も猛暑日が続いています。皆様方は、いかがお過ごしでしょうか。

さて、広島支部では、第62回ダルクローズ・リトミック音楽教育法講習会を7月26日（水）（会場：JMS アステールプラザ多目的スタジオ）に行いました。

今回は約60人の参加者があり、とても盛会でした。特に、保育士をめざす大学4年生の学生の皆さんが多く参加してくださり、会場は若いエネルギーに満ちあふれていました。

講師は、午前の部が石井亨先生（全日本リトミック音楽教育研究会会長）、午後の部が坂本真理子先生（全日本リトミック音楽教育研究会常任理事）でした。

◆ 午前の部





◆ 午後の部





本年度4月から比治山大学短期大学部附属幼稚園に赴任した新任教諭高橋こころ先生のレポートです。

「今回の研修会では、音を聞く(耳)→音を感じる(脳)→表現する(身体)ということから、音楽と動きには繋がりがあるということを改めて感じました。また日常の生活では様々な場面でリズムを感じていると実感しました。

リズムカルな音や落ち着いた音、「何だ?」と思わされる驚きの音など、様々な音から想像が膨らみ、自然とリトミックの世界に引き込まれていくのが分かりました。弛緩と緊張をバランス良く取り入れたり、速さや強さを滑らかに変えたりすることが大切で、その変化に気づけるようになるにより一層楽しく、またリトミックの世界に引き込まれると感じました。

この研修会を通して、音楽に合わせて体を動かすことの楽しさを

より感じられました。子どもたちとも楽しさを共有できるよう、石井亨先生・坂本真理子先生から教えて頂いたことを実践していきます。」



次回は、本年度第2回例会を、9月23日（土・祝）、比治山大学附属幼稚園ホールにて、馬杉知佐先生（比治山大学短期大学部講師）を講師としてお迎えし開催します。多くの先生方のご参加をお待ちしております。